

第 58 回東京都公民館研究大会開催要項

地域課題解決学習をつくる

～市民と職員をつなぐ対話とは～

1 開催趣旨

新型コロナウイルス感染症の世界的広がりにより、コロナ禍における新しい生活様式が導入されてから2年近くが過ぎました。

地域でのつながりを作ることを主たる目的としてきた公民館にとって、対面での交流が危険とされ、公民館に集うことができなくなったコロナ禍とは、己の存在意義を根本から問われる年月であったと思います。

公民館活動は学習の成果を実践へと発展させ、地域課題の解決に向けた活動を市民が主体として行えるよう支援する活動です。コロナ禍において、地域課題を解決する学習を実現するためには、対話や交流に基づく新たな連携を作る技術が、これまで以上に職員に、そして市民にも求められるのではないのでしょうか。

今大会では、対話によって自分たちの地域の特徴や課題を見出し、関係者とともに地域に新しい働きかけをつくっていきける市民と職員になるため、どのような取り組みや挑戦ができるか、お互いの役割分担とは何かを、それぞれ対話によって模索したいと考えます。

- 2 主 催 東京都公民館連絡協議会（以下「都公連」という）
- 3 後 援 東京都教育委員会、東京都市長会、東京都町村会、東京都市教育長会、東京都町村教育長会、東京都市町村教育委員会連合会、小金井市教育委員会
- 4 対 象 者 市民、公民館運営審議会委員、公民館職員、社会教育関係者、生涯学習関係者、その他本研究大会に関心のある方。
- 5 参 加 方 法 都公連ホームページ (<https://tokyokouminkan.wixsite.com/tokoren>) に掲載された、基調講演の動画、ならびに、主催者及び来賓者の挨拶文、課題別集会の事例報告及び助言者のコメントを、各自でご覧ください。
都公連ホームページ
QRコード
- 6 参 加 費 どなたでも参加費無料でご覧いただけます。
動画の掲載期間は、2022年（令和4年）2月24日（木）から2023年（令和5年）1月31日（火）までです。
※動画視聴に伴う通信料については、視聴される方のご負担になります。
- 7 基 調 講 演 講師：田中 雅文 さん（日本女子大学人間社会学部教育学科教授）
- 8 課 題 別 集 会 詳細は裏面をご覧ください。

<課題別集会 概要>

テーマ	報告事例概要	企画運営
<p>第一課題別集会</p> <p>公民館にとってのオンラインとは</p>	<p>コロナ禍で進んだオンライン化ですが、公民館職員の役割として「つどう」「まなぶ」「むすぶ」をリアルで大切にしたい気持ちがあります。一方で、もうオンラインは一つのツールとして当たり前の状況になっています。</p> <p>そこで、これまでオンラインに取り組んでこられた方々の事例を伺い、メリットとデメリットを整理しながら、公民館としてどのようにオンラインを活用していくのか考えます。</p> <p>助言者：丹間康仁さん（千葉大学教育学部准教授）</p> <p>事例報告者： 中泉理奈さん（荒川区地域文化スポーツ部生涯学習課社会教育主事） 萩元直樹さん、井口啓太郎さん、鈴木孝志さん、石田智彦さん（たま社会教育ネットワーク）</p>	<p>町田市</p>
<p>第二課題別集会</p> <p>社会教育士の役割～いま、公民館に求められていること～</p>	<p>令和2年度から社会教育主事任用資格を得たものが、社会教育士と名乗れるようになりました。</p> <p>文部科学省では、社会教育士の取り組みの中でも、「コーディネート能力」「ファシリテーション能力」「プレゼンテーション能力」に重点を置いています。その社会教育士の役割を学ぶことで、公民館に期待されていることを考える機会に行きます。</p> <p>助言者：青山鉄兵さん（文教大学人間科学部准教授）</p>	<p>小平市</p>
<p>第三課題別集会</p> <p>公民館における社会教育実習のあり方について～大学、公民館、実習生 三者の視点から捉える社会教育実習～</p>	<p>公民館は毎年、様々な大学から社会教育実習生を受け入れています。職員部会は今年度、倉持伸江さんをお招きし、小笠原東生さんの作成された“社会教育実習生受け入れプログラム”をベースに、実習生を送り出す大学と、実習生を受け入れる公民館職員の意見交換をしてきました。今年度実習生を受け入れた町田市生涯学習センターの事例や、実際に社会教育実習を受けた学生の意見も踏まえながら、大学と公民館、三者の視点で“社会教育実習”のあり方を考えます。</p> <p>助言者：倉持伸江さん（東京学芸大学教育学部准教授）</p> <p>事例報告者：岩田武さん（町田市生涯学習センター）</p>	<p>職員部会</p>
<p>第四課題別集会</p> <p>コロナ禍を乗り越えた公民館活動～ピンチをチャンスに～</p>	<p>コロナ禍で惜しくも縮小する活動が多い中、ピンチをチャンスと捉えて市民や学生が共同し主体的に活動した西東京市、国立市、国分寺市の事例をもとに新たな活気ある公民館活動について考えます。</p> <p>助言者：新藤浩伸さん（東京大学大学院教育学研究科・教育学部准教授）</p> <p>事例報告者：西原みどりさん（ひばりが丘フェスティバル）（西東京市） 和田幸夫さん（くにたち国際友好会 WING）（国立市） 岩田京佳さん、狩野結さん、堀越慧さん（国分寺市）</p>	<p>委員部会</p>

令和3年度東京都公民館連絡協議会事務局
 小金井市教育委員会生涯学習部公民館庶務係
 〒184-0004 東京都小金井市本町 2-15-11
 電話：042-383-1184 FAX：042-387-1226
 E-mail:k020499@koganei-shi.jp